

# 2021年10月期 通期決算説明資料

株式会社モルフォ  
(東証マザーズ:3653)



本資料に記載の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報および仮説に基づき当社が判断したものです。当該情報および仮説に含まれる不確定要素や事業環境の変化による影響等により、実際の業績等は本資料記載の内容とは異なる場合がございます。

# Vision



Rise above what we see, to realize what we feel

-人間の目を拡張し、感動に満ちた世界を実現しよう-

# 2021年10月期 連結決算 概要

### ■ 開発収入について、車載関連で回復基調。また、OCR大型新規案件が売上に寄与

車載モビリティ事業における既存特定取引先からの開発収入は一時的な減少を経て回復基調へ。子会社モルフォAIソリューションズでは、国立国会図書館からのOCR処理プログラムの研究開発案件が売上に寄与(翌期も継続)

### ■ 特定顧客からのロイヤリティ収入が減少

スマートデバイス事業に関して、米中貿易摩擦等の影響、および半導体不足の影響により当社製品が搭載される端末モデルの販売数量が減少したこと等の理由から、特定取引先からのロイヤリティ減少

⇒スマートフォンメーカーのニーズに迅速に答えるべくグローバル展開を推進

### ■ グローバル展開をはじめとした事業強化推進に伴い、人件費関連増加

研究開発や海外拠点における人材投資を実施したことにより、研究開発費や人件費が増加

中長期的な成長実現に向けたメリハリをつけた投資を継続(中長期的な成長に結びつかないコスト削減を推進)

### ■ 新中期経営計画 Vision2024 を策定

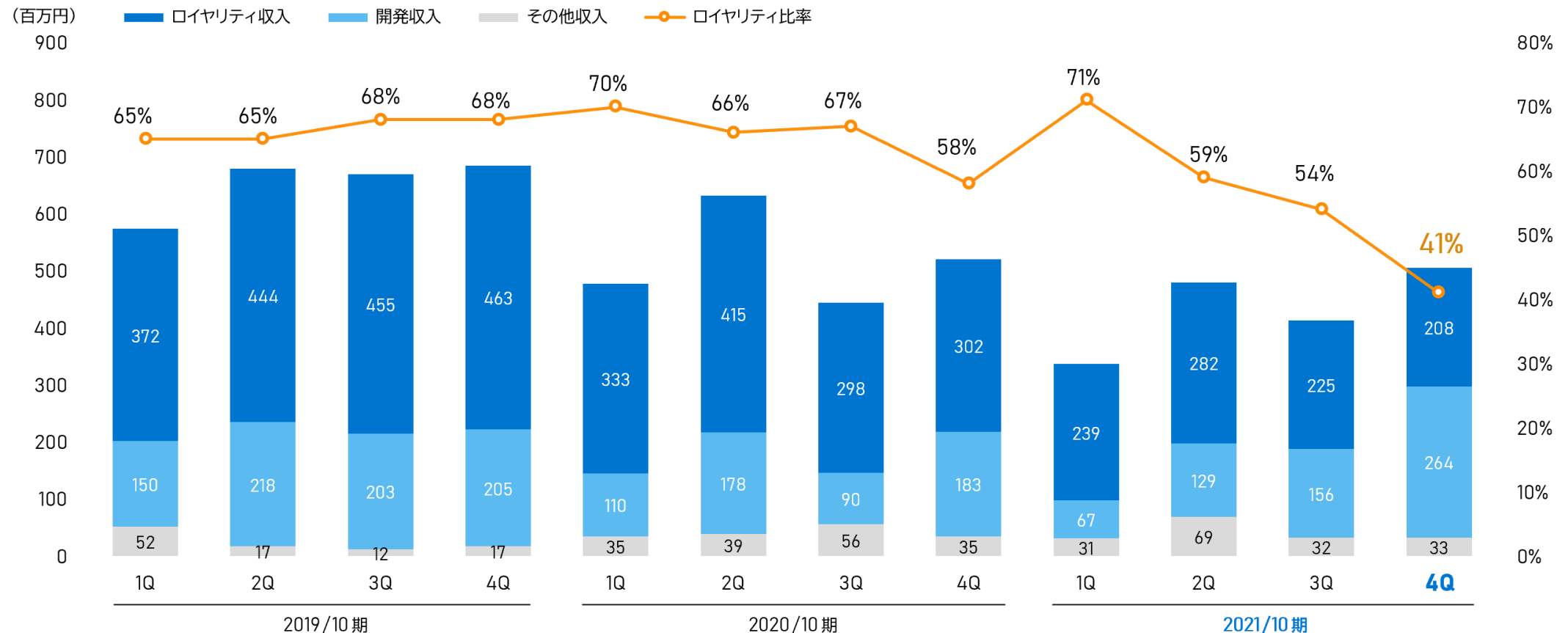
2021年11月から開始する3か年において、さらなる成長を目指すべく中期経営計画を策定。

- 売上： 開発収入は、車載関連で回復基調、OCR大型新規案件が寄与。  
ロイヤリティ収入は、特定顧客からの収入が減少。
- 費用： コロナ影響等により経費減少するものの、全社的な人員先行投資の影響により営業費用増
- 営業利益：  $\Delta 881$ 百万円 (前年同期比 $\Delta 738$ 百万円)

(単位:百万円)	2020/10期 4Q	2021/10期 4Q	増減
売上	2,073	1,730	$\Delta 343$
営業費用	2,216	2,611	395
営業利益	$\Delta 143$	$\Delta 881$	$\Delta 738$
経常利益	$\Delta 136$	$\Delta 841$	$\Delta 705$
親会社株主に帰属する 当期純利益	$\Delta 652$	$\Delta 793$	$\Delta 141$

# 売上収益構成 - ビジネスモデル別 -

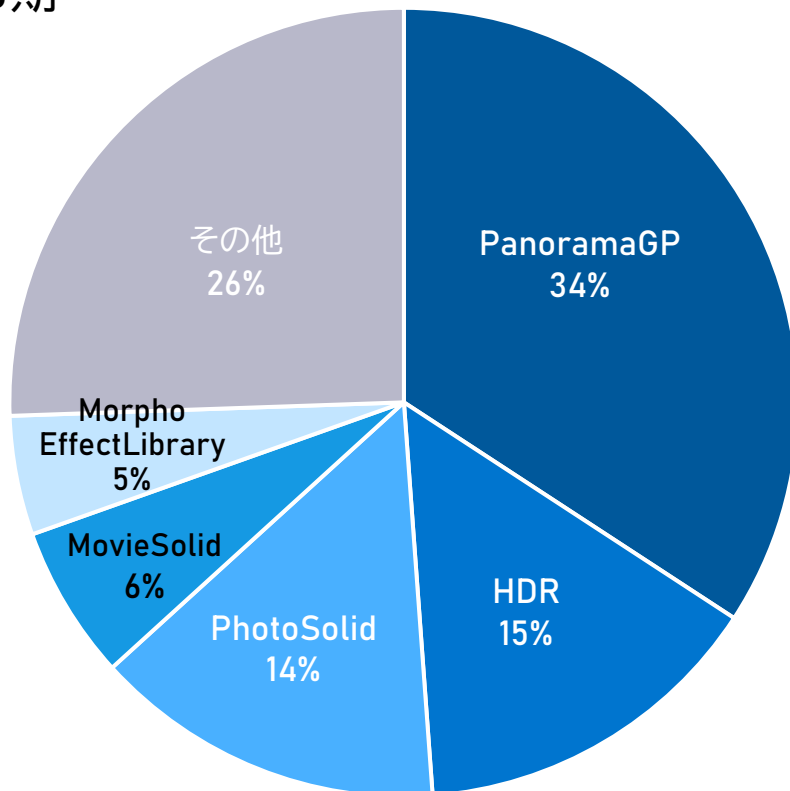
- ロイヤリティ収入：中国特定顧客との取引減少、半導体不足/顧客事業撤退の影響により前年同期比では減少
- 開発収入：国立国会図書館案件が売上に寄与。車載関連開発は一時的な減少を経て回復基調へ
- その他：子会社(モルフォAIソリューションズ、Top Data Science)におけるコンサル・サポート収入堅調推移



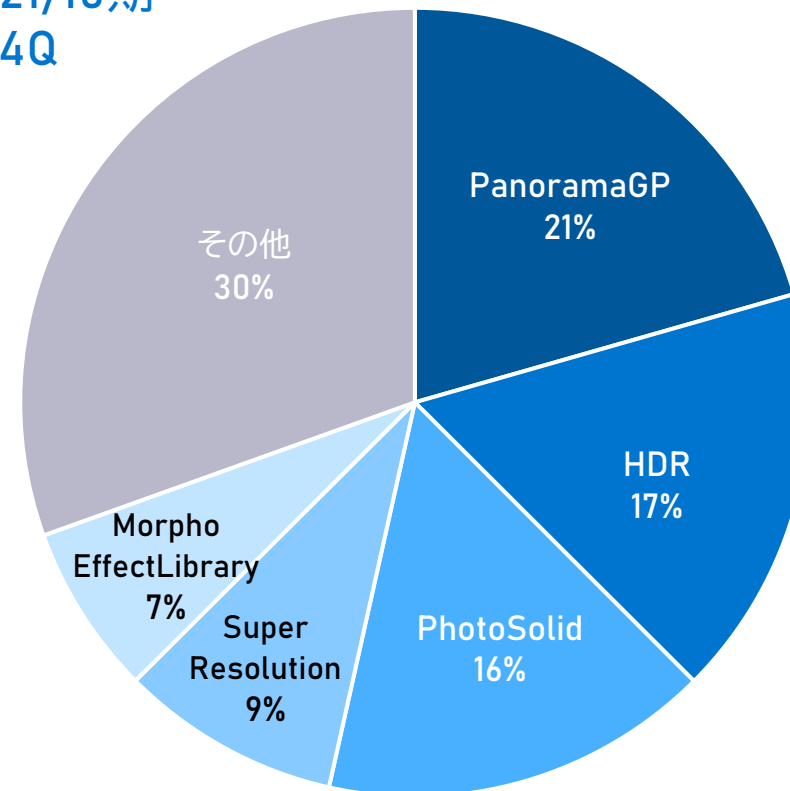
コロナ・米中貿易摩擦影響

- 中国特定顧客の売上減少に伴い Morpho PanoramaGP™、MovieSolid® の割合が減少
- Morpho HDR™、PhotoSolid® 等、その他製品販売は堅調に推移

■ 2020/10期  
4Q



■ 2021/10期  
4Q

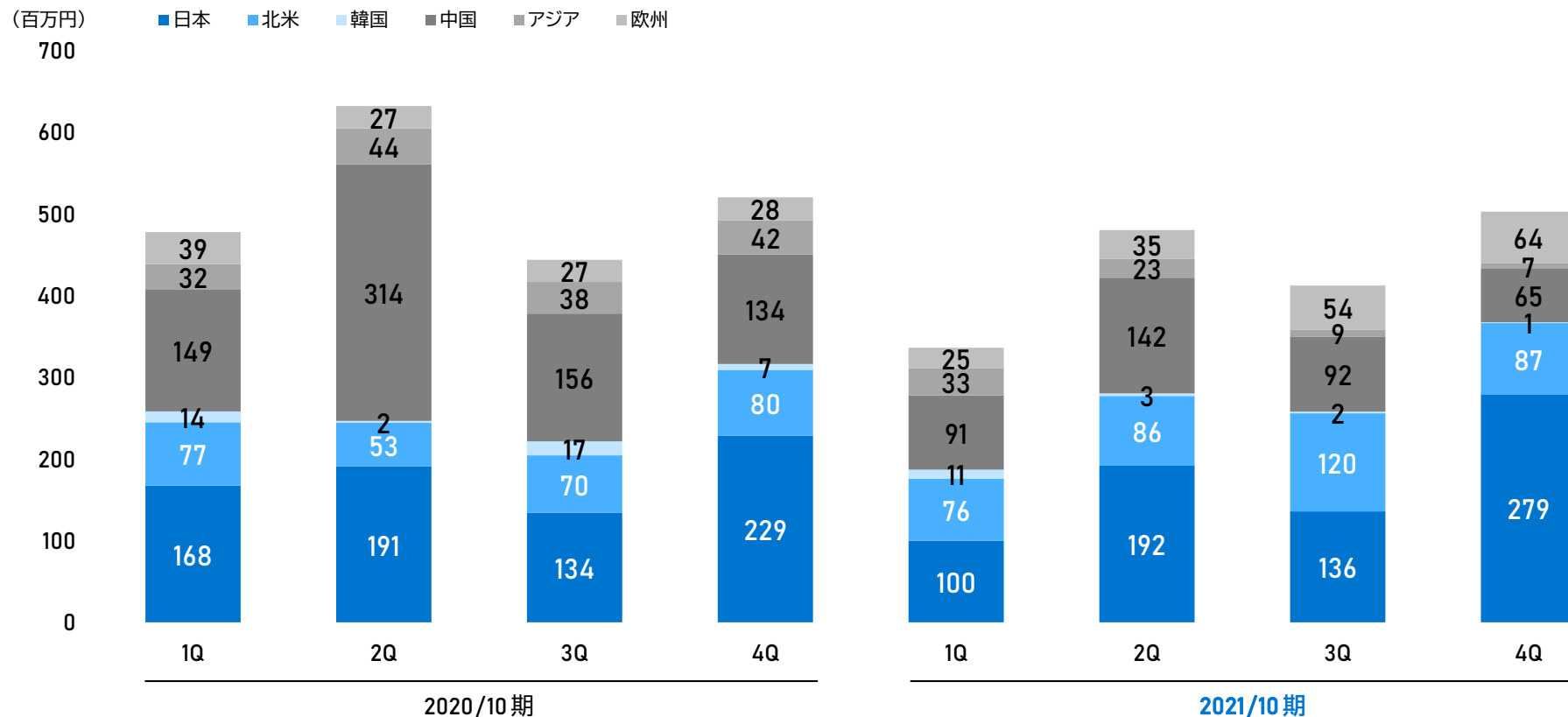


%はロイヤリティ収入に対する割合



# 売上収益構成 - 地域別 -

- 北米 特定顧客からのロイヤリティ収入が前年同期比増加
- 日本 車載関連開発収入は回復基調/国立国会図書館案件が売上に寄与
- 中国 特定顧客からの収入減少の影響により前年同期比及び前四半期比ともに減少



※地域分類は原則、顧客所在地に依拠。なお当期から管理会計上の地域分類一部見直しに伴い、前期数値を遡及修正しました(アジア:台湾、香港、ベトナム等)。

## 2021年10月期実績との比較

(単位:百万円)	2021/10期 通期連結業績	2022/10期 通期連結業績予想	増減	要因
売上	1,730	2,310	579	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開発収入:既受注分を含め継続的に増加見込</li> <li>・ロイヤリティ:海外スマホOEMを中心に売上拡大を見込む</li> </ul>
営業費用	2,611	2,700	87	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規ビジネス開発のための投資に係る費用増を見込む</li> <li>・その他経費の見直しにより固定費削減</li> </ul>
営業利益	△881	△390	491	
経常利益	△841	△390	451	
親会社株主に帰属する 当期純利益	△793	△460	333	

- 基本方針

## ビジョン

Rise above what we see, to realize what we feel  
— 人間の目を拡張し、感動に満ちた世界を実現しよう —

## 経営目標

イノベーションを通じて顧客価値を最大化する

## 基本戦略

特定セグメントに経営資源を集中し、競合との差別化を実現することにより競争に勝つ

※新中期経営計画の詳細については以下をご参照ください。  
説明資料・説明動画：<https://www.morphoinc.com/ir/news>

# Appendix

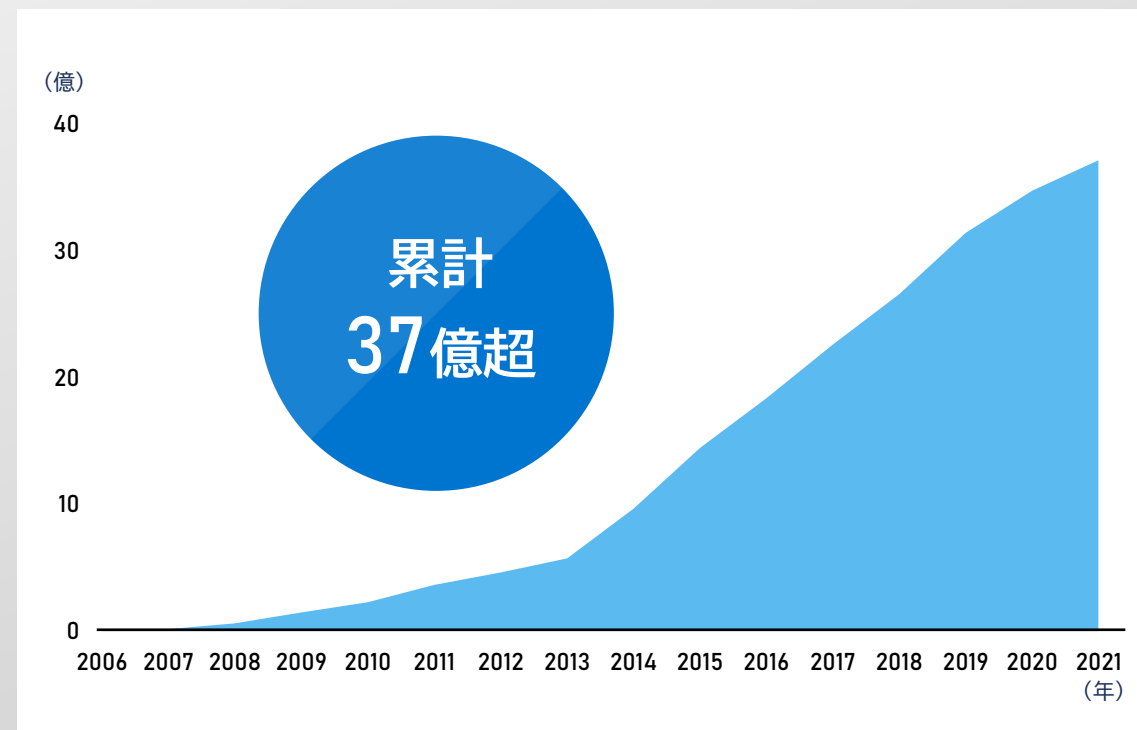
## 画像技術・AI技術を駆使したソフトウェア製品の開発

### ■ 保有特許数<sup>※1</sup>

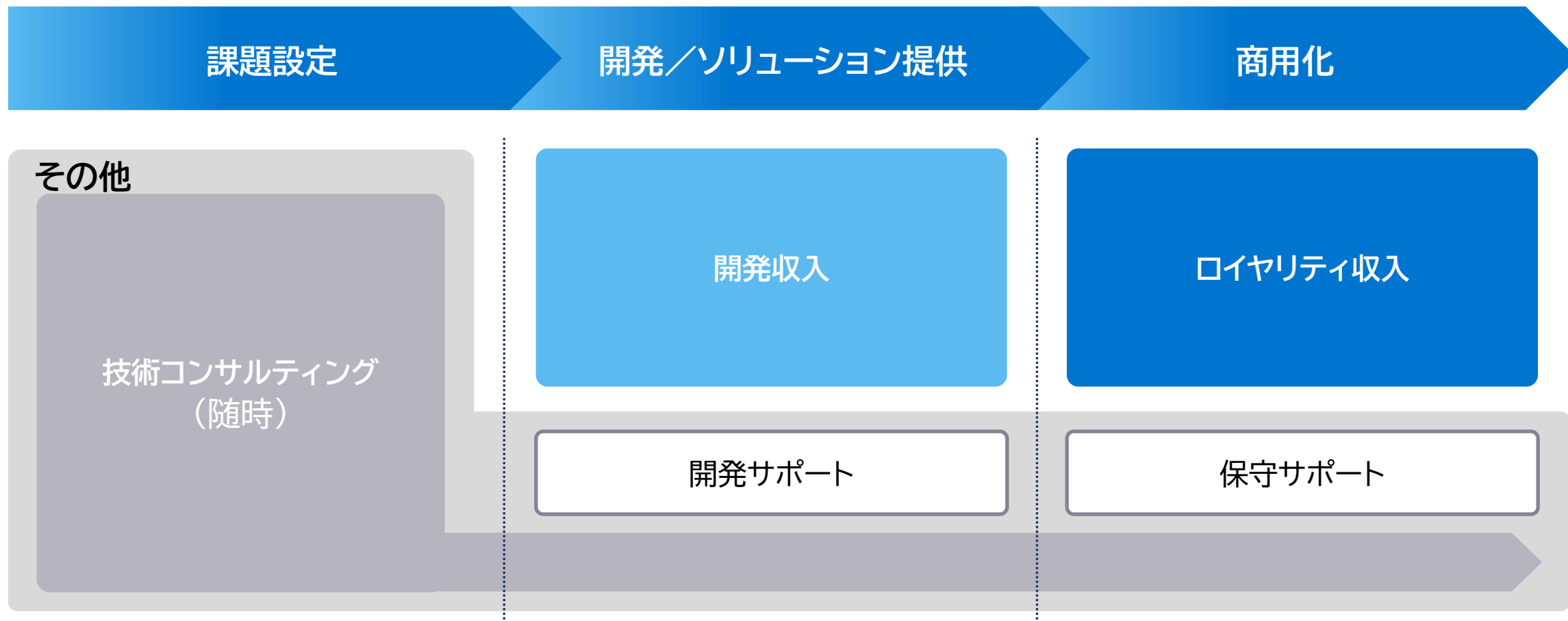


※1 2021年10月現在

### ■ 累計ライセンス数の推移







## ソフトウェア・ライセンス事業により収益の積み上げを実現

ロイヤリティ収入

- 各メーカーへ当社グループのソフトウェア製品を提供
- 各メーカー製品の出荷台数/期間に応じたライセンス料収受

開発収入

- 新製品・サービス開発時に、各メーカーからモルフォが開発を請負
- 一定の条件を満たせば当社グループ単独でライセンス展開

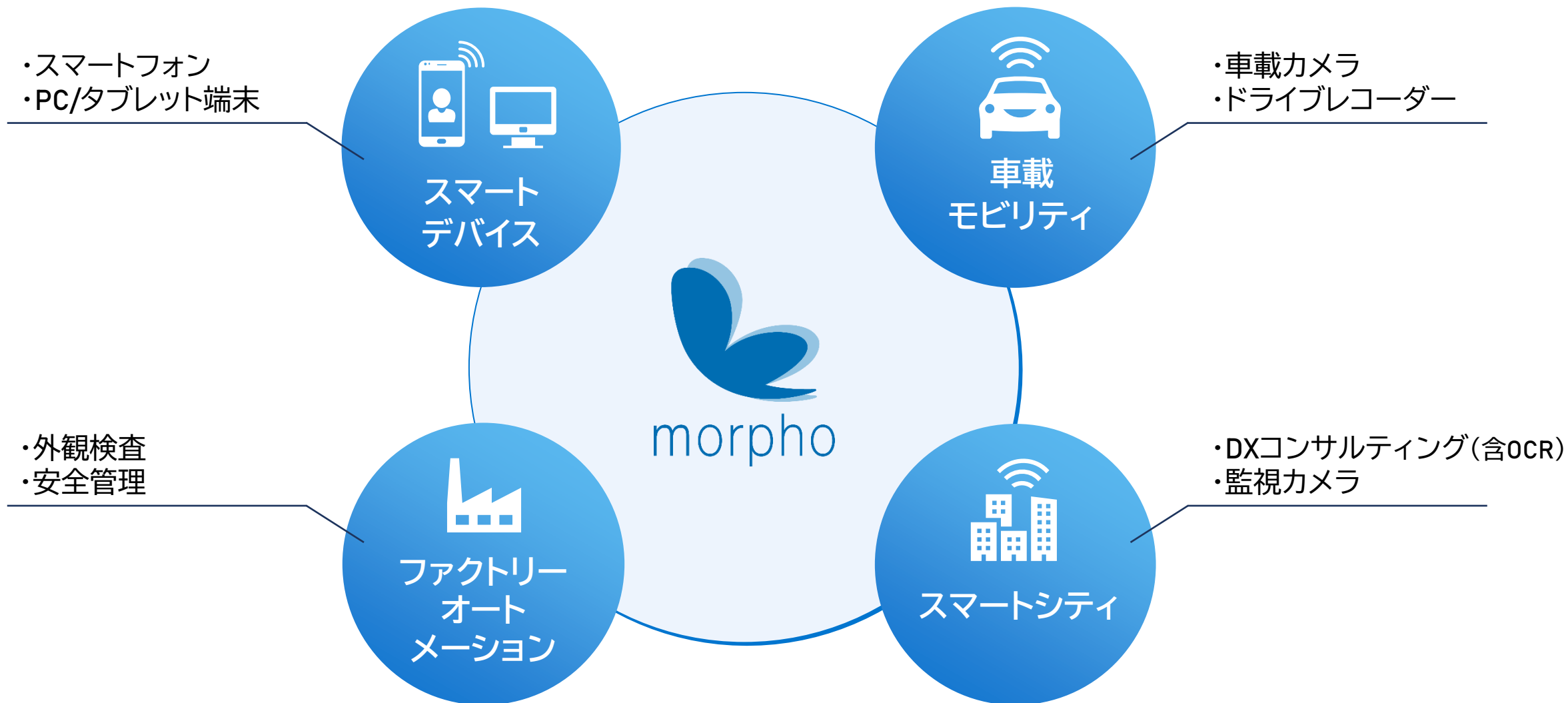
その他

- 各メーカーへ当社製品の実装支援を実施する開発サポート収入
- 各メーカーへ製品利用許諾後に技術的サポートを実施する保守サポート収入



# 事業環境 / 事業戦略

先進のイメージング・テクノロジーにより、利便性・安心安全・生産性の向上に貢献する



# 事業戦略 — スマートデバイス —

01

## 中華圏スマートフォンOEMのシェア拡大に伴い、中国拠点を強化

中国拠点において新規ニーズを即時把握

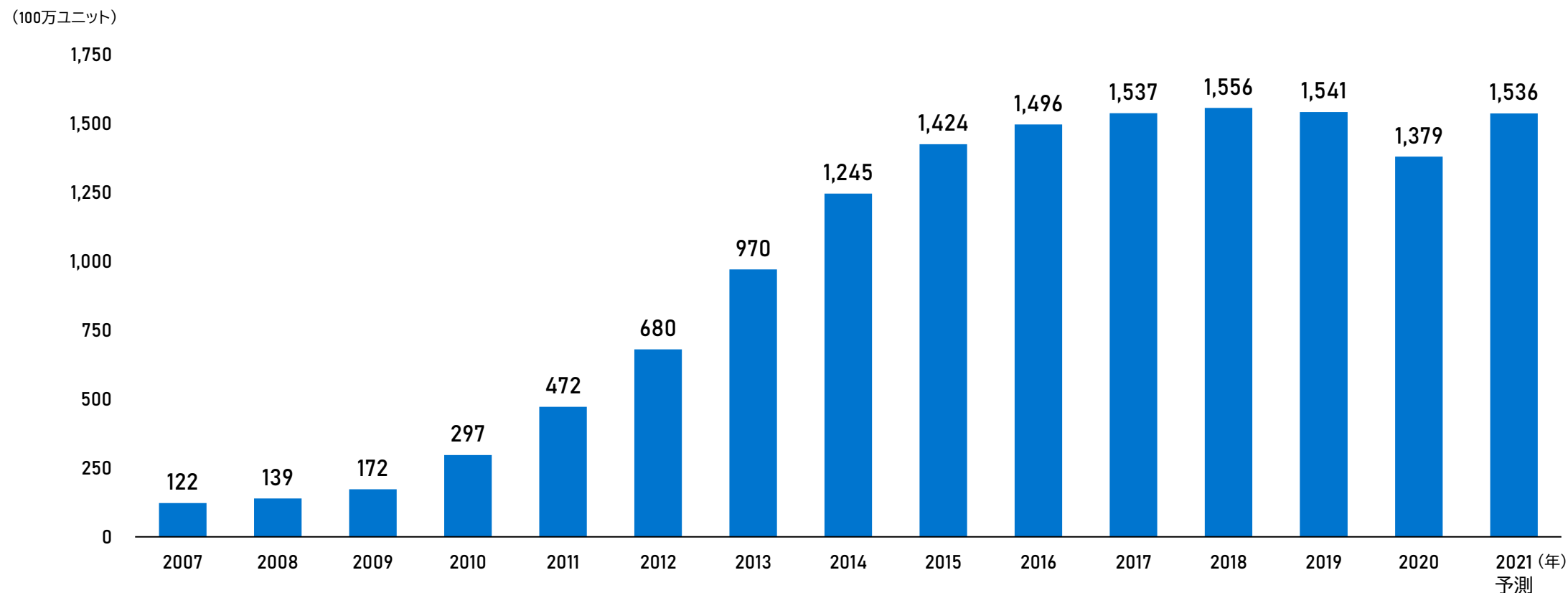
02

## 主要スマートフォンチップセットメーカーとの関係強化

スマホOEMのチップセット採用動向を把握し、開発投資を事前最適化

## コロナ禍で落ち込むもマーケットは回復基調

### 世界スマートフォン販売台数



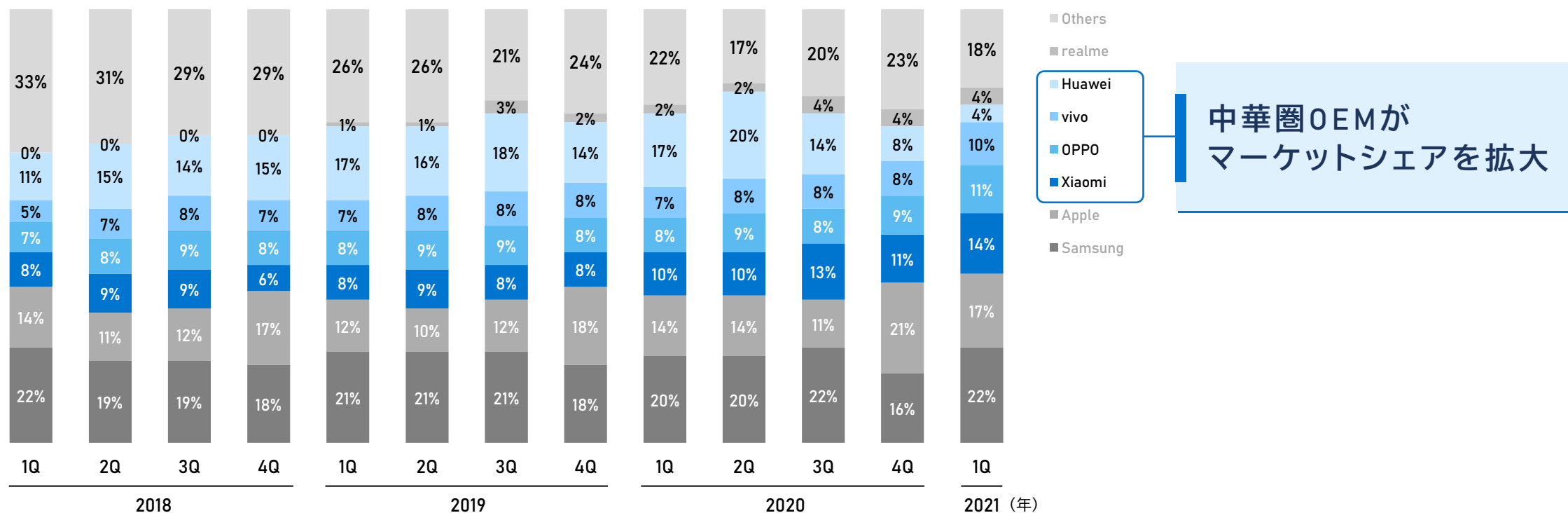
出典：Gartner® Statista 2021 注1: Additional Information : Worldwide ; Gartner ; 2007 to 2021 注2: 2021年は予想値

## 中国圏の市場拡大を受け、Morpho Chinaに重点投資

### 施策のポイント

- スマートフォンビジネスについて中国拠点(Morpho China)に重点投資を行う
- Morpho Chinaを中心に、新規ニーズを即時に把握

### 世界スマートフォン市場占有率



中華圏OEMが  
マーケットシェアを拡大

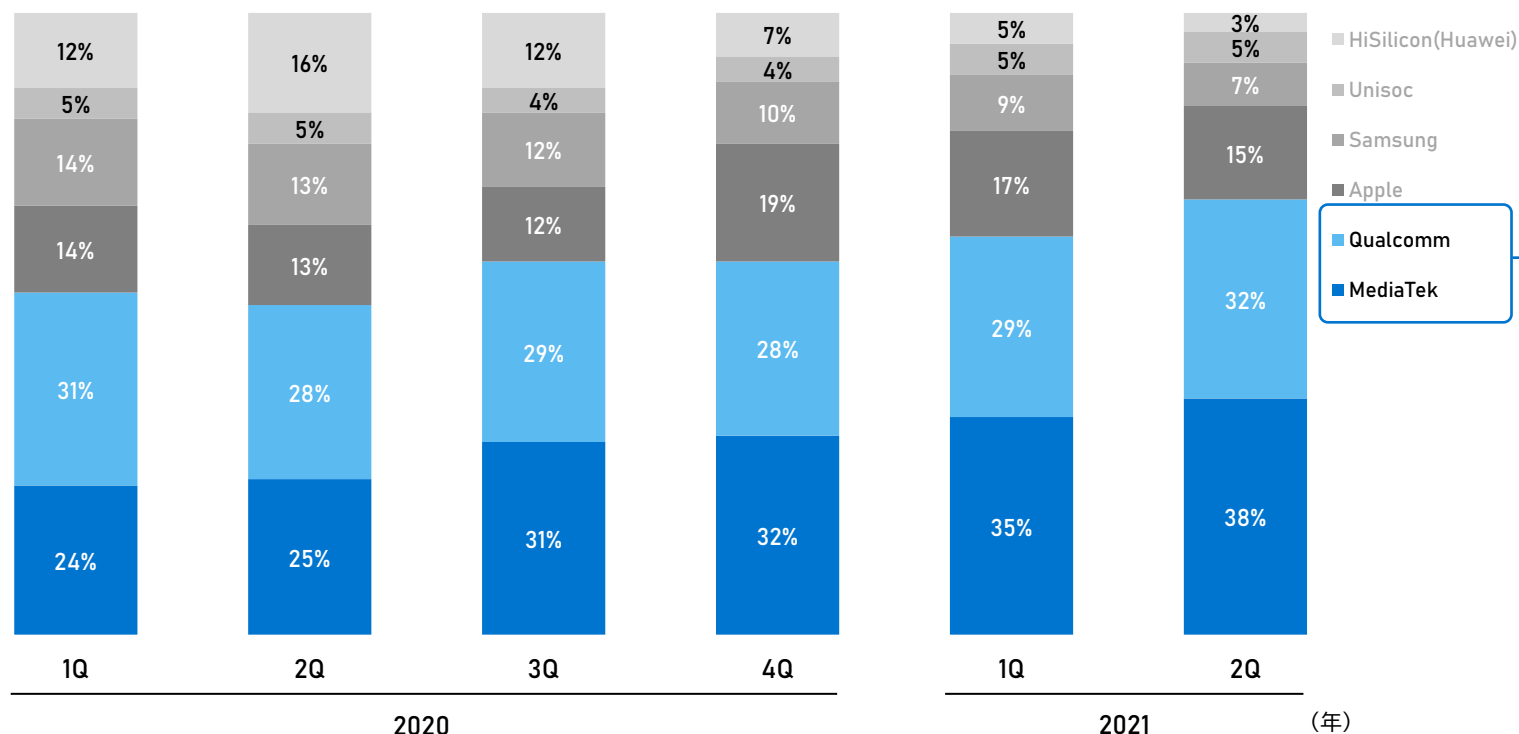
出典: Counterpoint Technology Market Research

## 地域子会社(米国、台湾)を通して主要チップセットメーカーとの関係強化

### 施策のポイント

- スマートフォンOEMのチップセット採用動向を把握し、開発投資を最適化
- PC分野においてもチップセットメーカーとの協業を推進

### 世界スマートフォン向けチップセット市場占有率



特定のチップセットメーカー  
シェア拡大

出典: Counterpoint Technology Market Research

## 今後リリース予定のSnapdragon® Compute Platformに、モルフォのソフトウェアを実装するため、さらなる協業を推進。

### ■ 環境

コロナ禍によるビデオ会議の急増



世界のPCメーカーは、ビデオ会議におけるユーザー体験の向上を可能にする高度なカメラ機能を強く求めている。



モルフォのソフトウェアをSnapdragon® Compute Platformに組み込むことで、以下技術がユーザーのPCのフロントカメラに適応され、ビデオ会議をより快適に行うことが可能に

#### 【画像処理技術】

- ワイドダイナミックレンジ補正(適応型ローカルトーンマッピング)
- AIベースの背景ぼかしや背景入れ替え
- 自動フレーミング(動画内の被写体が常にズームされるように調整)
- 視線補正



# 事業戦略 — 車載モビリティ —

01

## 既存顧客との連携継続・強化

共同研究開発を継続・拡大

02

## 自社商品によるロイヤリティビジネス事業化

独自商品開発および車載SoCメーカーとのパートナー連携

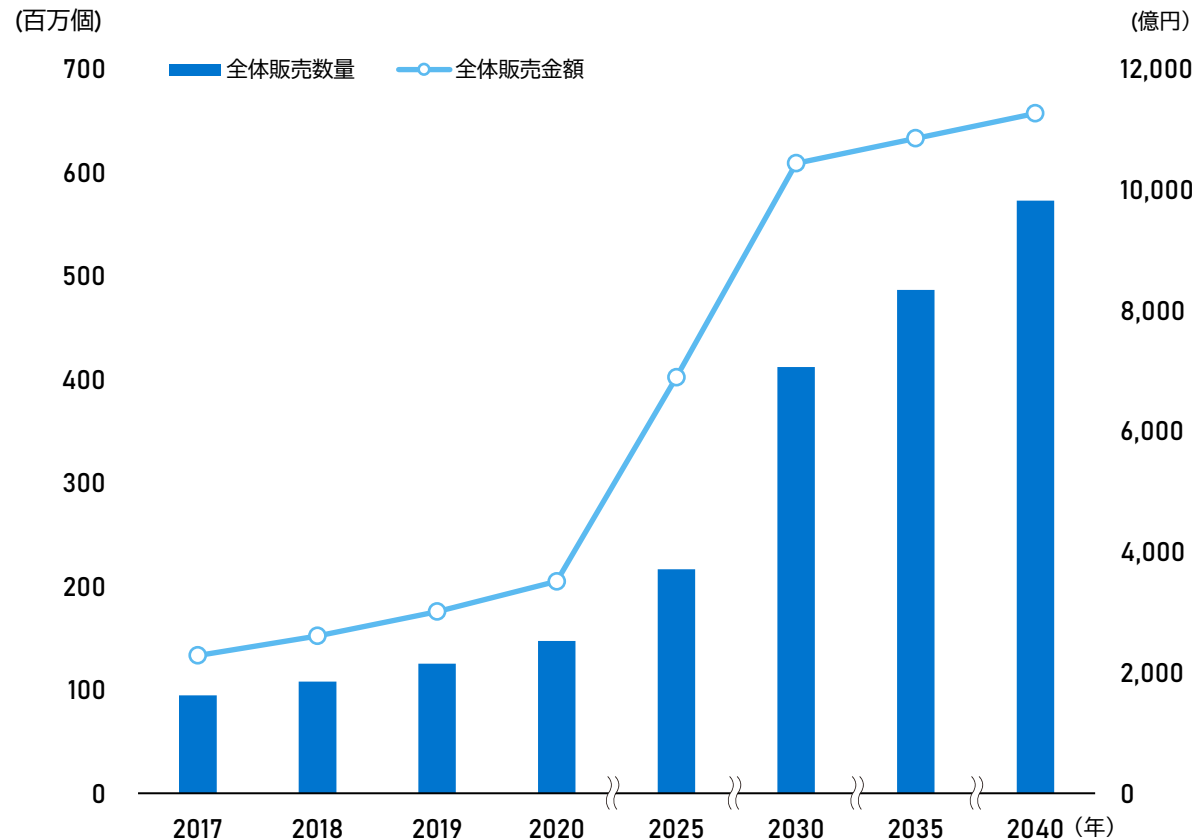
03

## ミックウェア社との戦略的提携によるビジネス創出

資本業務提携を締結、車載ビジネスの付加価値向上と新規ビジネス協創を推進

# ADASカメラ及びモニタリングカメラ機能として市場継続拡大

## 市場規模



出典:富士カメラ総研

## 市場概要(予測)

### 車載カメラ

#### 市場成長率 (2020年⇒2025年)

数量	2.2 億台	147%
金額	6,900 億円	196%

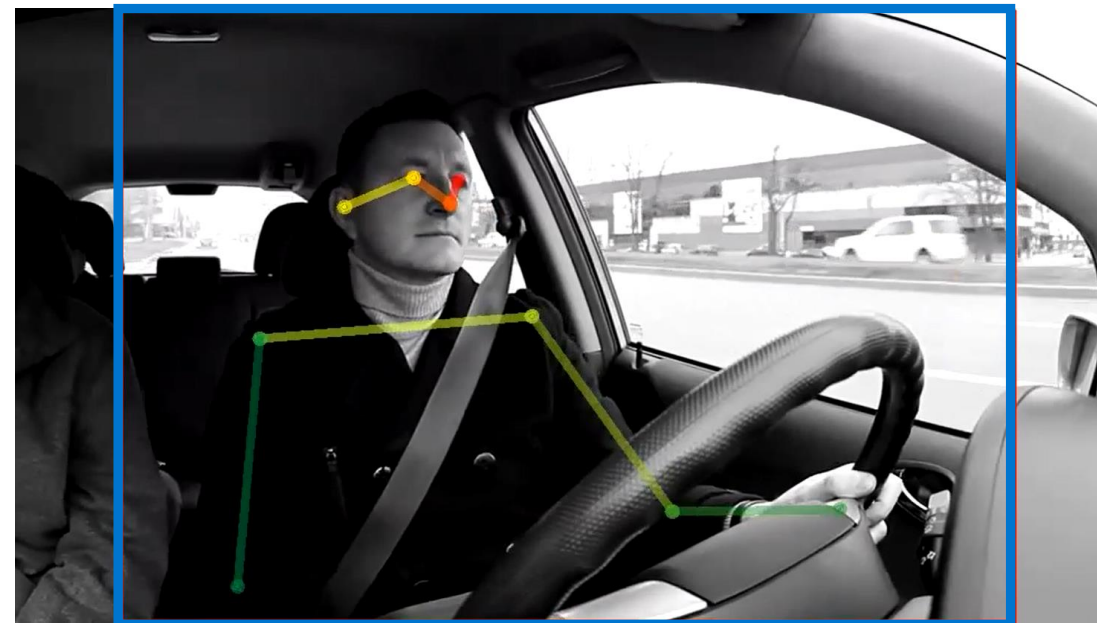
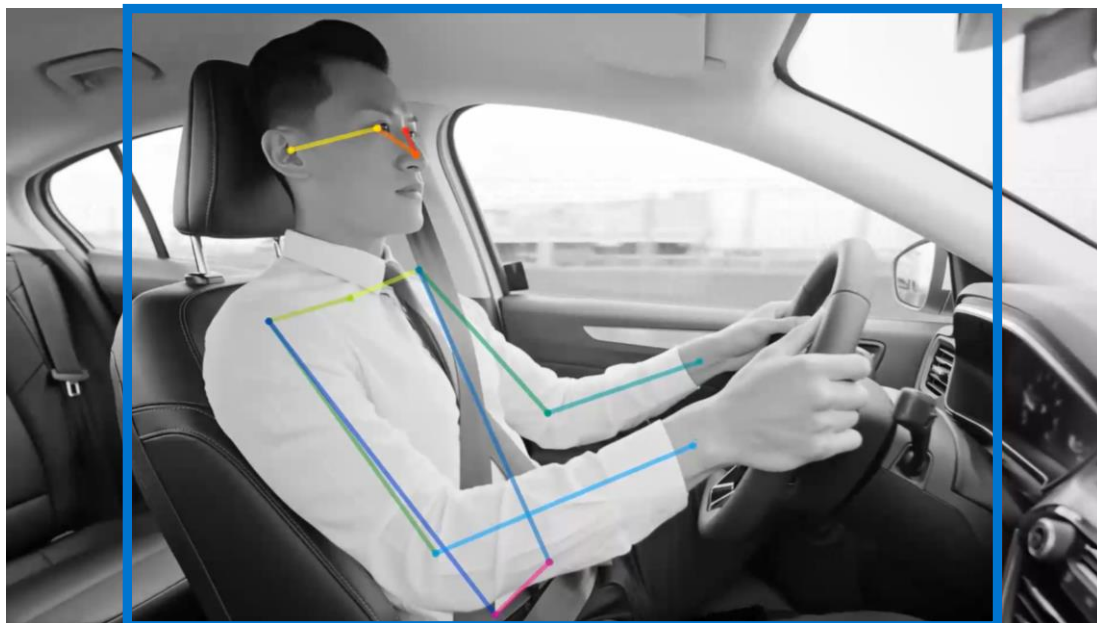
カメラソフト市場をハードの20%と想定した場合:1,380億円

#### CAGR

数量	8%
金額	14%

## Morpho Pose Estimator for DMS

乗用車車内にカメラを設置し、乗員の表情や動きを撮影し、脇見や居眠り、眠気を検知して、事故のリスクを最大限抑えるための機器としてドライバーモニタリングシステム(DMS)が注目されています。当商品はこのDMS用途向けにディープラーニング技術を用いて最適化された姿勢推定エンジンで、乗員姿勢を高い精度で高速に推定します。

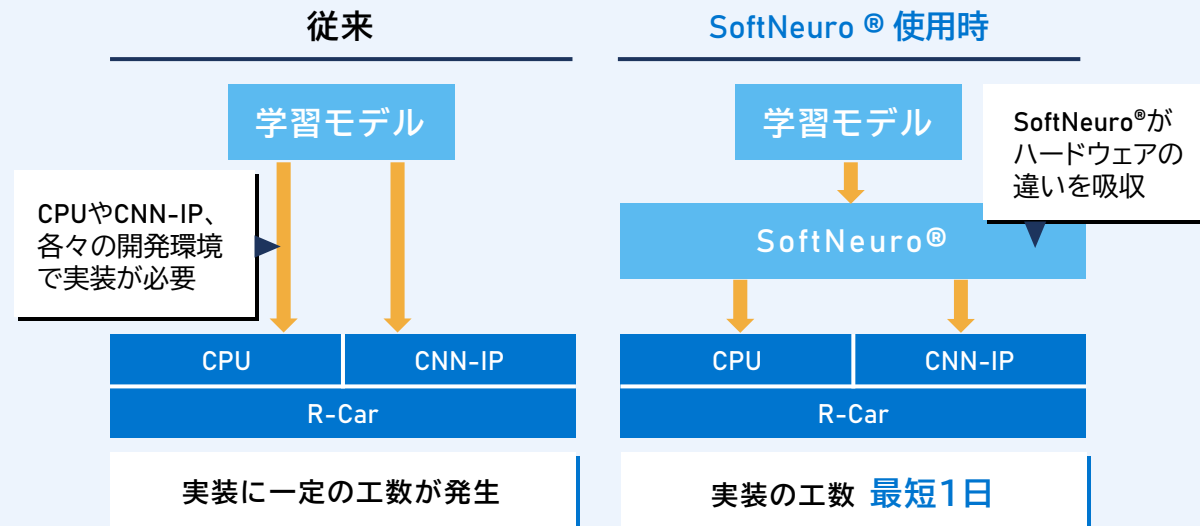


## SoftNeuro<sup>®</sup>が、ルネサスエレクトロニクス社SoCに対応

新機能として「R-Car」シリーズ搭載のAIアクセラレーターエンジン「CNN-IP」に対応し、高速化を実現

### SoftNeuro<sup>®</sup>が R-Carで実現できること

「R-Car」搭載のAIハードアクセラレーター「CNN-IP」を使用し、任意の学習モデルを**即時に高速実行可能**



#### ディープラーニング推論エンジン『SoftNeuro<sup>®</sup>』とは

モルフォが独自開発した世界最速級のディープラーニング推論エンジン『SoftNeuro<sup>®</sup>』は、主要なディープラーニング・フレームワークに対応し、様々なエッジデバイス環境で高速な処理を実行します。また、画像認識だけでなく音声認識やテキスト解析等にも利用できる汎用的な推論エンジンです。

## 株式会社ミックウェアと資本業務提携を締結し、車載ビジネスの付加価値向上と新規ビジネスの協創を推進

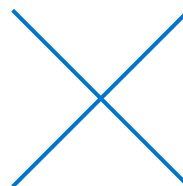
### モルフォ

#### 事業内容

- 画像処理およびAI技術の研究・製品開発

#### 強み

- デジタル画像処理およびDeep Learningによる人工知能型画像認識に関する先進的な技術並びに人材を保有
- スマートフォン・車載・IoT向けソフトウェア事業をグローバルに展開



### ミックウェア社

#### 事業内容

- コンピュータシステム・ソフトウェアの企画・開発・製作・販売

#### 強み

- GPSを活用したカーナビゲーション及び車載システムの開発や構築における高い技術力
- モビリティ事業を展開する各社とのコネクション及び当該分野における幅広い知見を保有

# 事業戦略 — スマートシティ —

01

## 画像認識AI技術を用いたDX向けビジネス拡大

OCRを起点にBPOビジネスへ展開

02

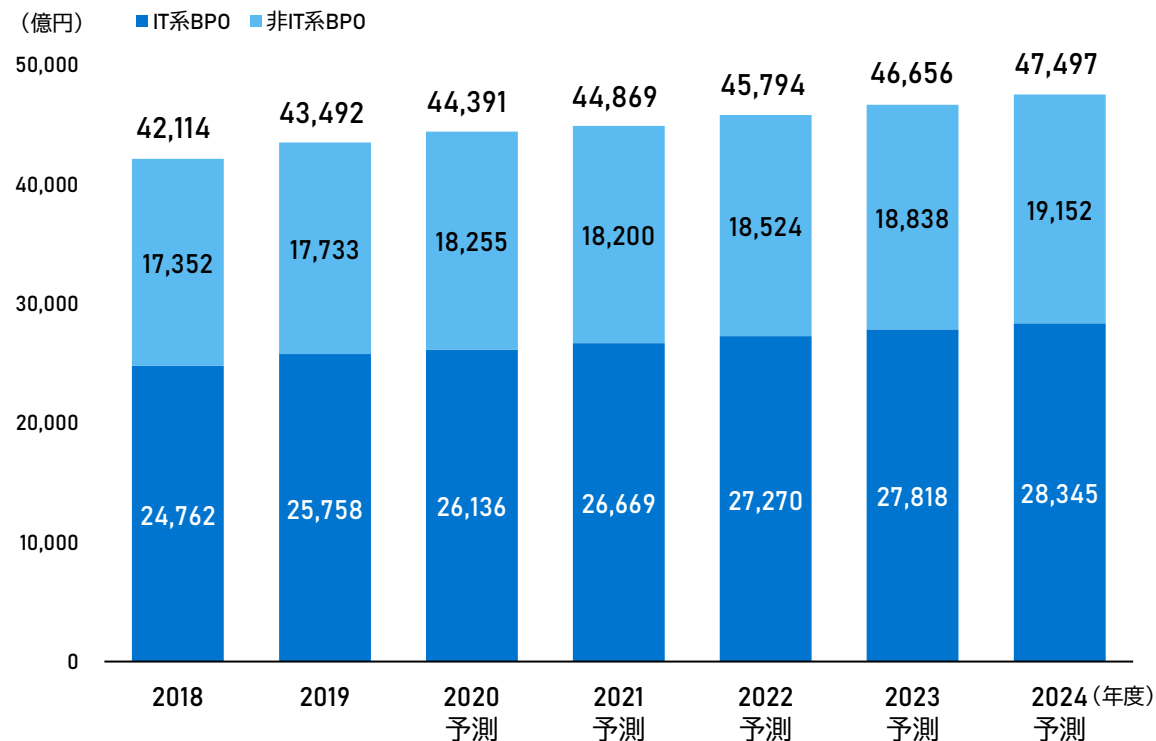
## 監視カメラ画像解析AIで安心安全なまちづくりに貢献

店舗混雑の可視化、介助が必要な人の発見、駅の安全管理など



モルフォの画像処理・画像認識AI技術において差別化できる領域にて顧客課題の解決を狙う  
OCRを起点に、将来的にはBPO市場のうちデータエントリー業務への参入を目指す

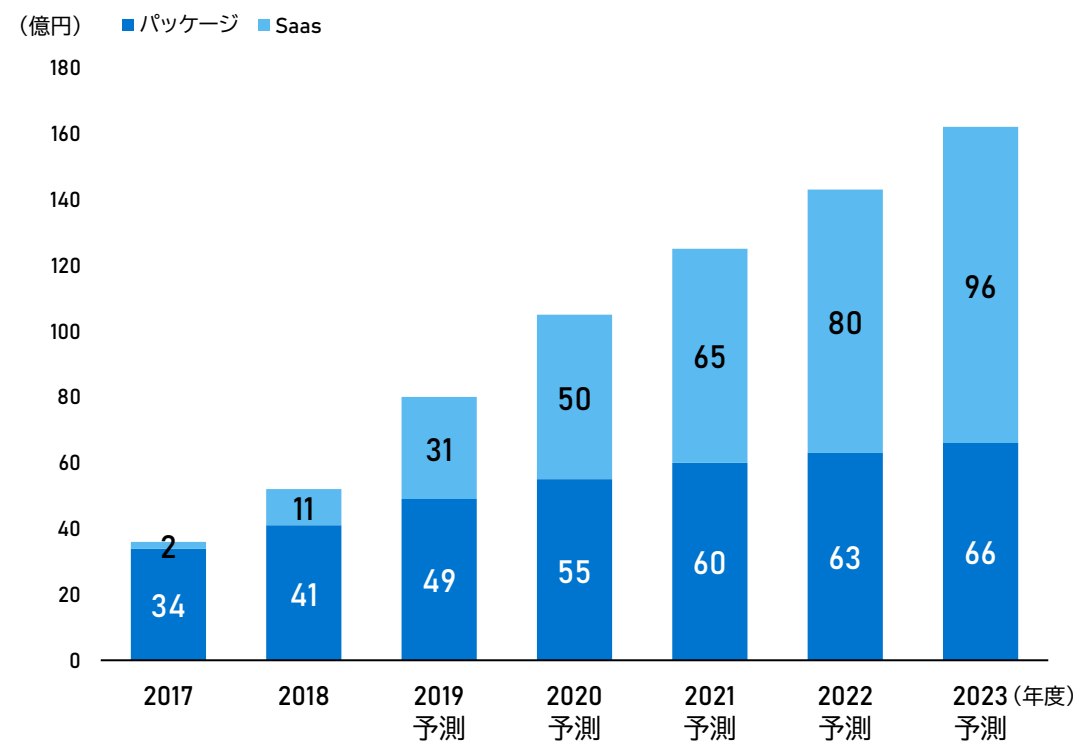
## 国内BPO市場規模推移予測



出典：矢野経済研究所

注1：事業者売上高ベース 注2：IT系BPOとは発注企業からシステム運用管理業務を委託され代行するサービス。非IT系BPOとはその他の業務を委託され代行するサービスとする。 注3：2020年度以降は予測値

## 国内OCR市場規模推移予測：提供形態別

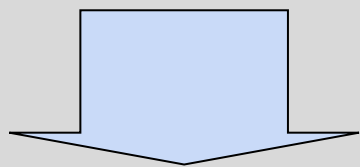


出典：ITR「ITR Market View:RPA/OCR/BPM市場2019」

注：ベンダーの売上金額を対象とし、3月期ベースで換算。2019年度以降は予測値。

## 明治期～昭和期の書籍画像(2億枚)のテキスト化処理の研究開発

国立国会図書館デジタルアーカイブ上で提供される資料画像について、今後本文テキストデータの作成を行えるようにモルフォの保有する最新AI技術・画像処理技術を取り入れたOCR処理プログラムの研究開発を実施

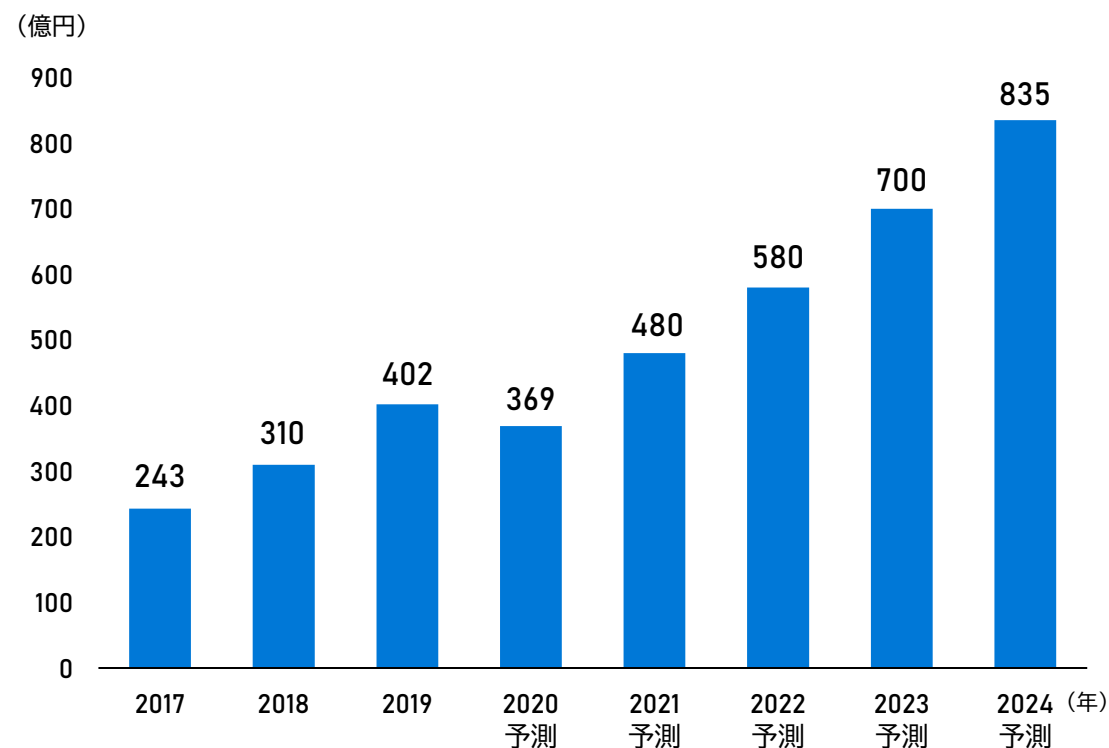


## 歴史的資料の全文テキスト検索を実現へ



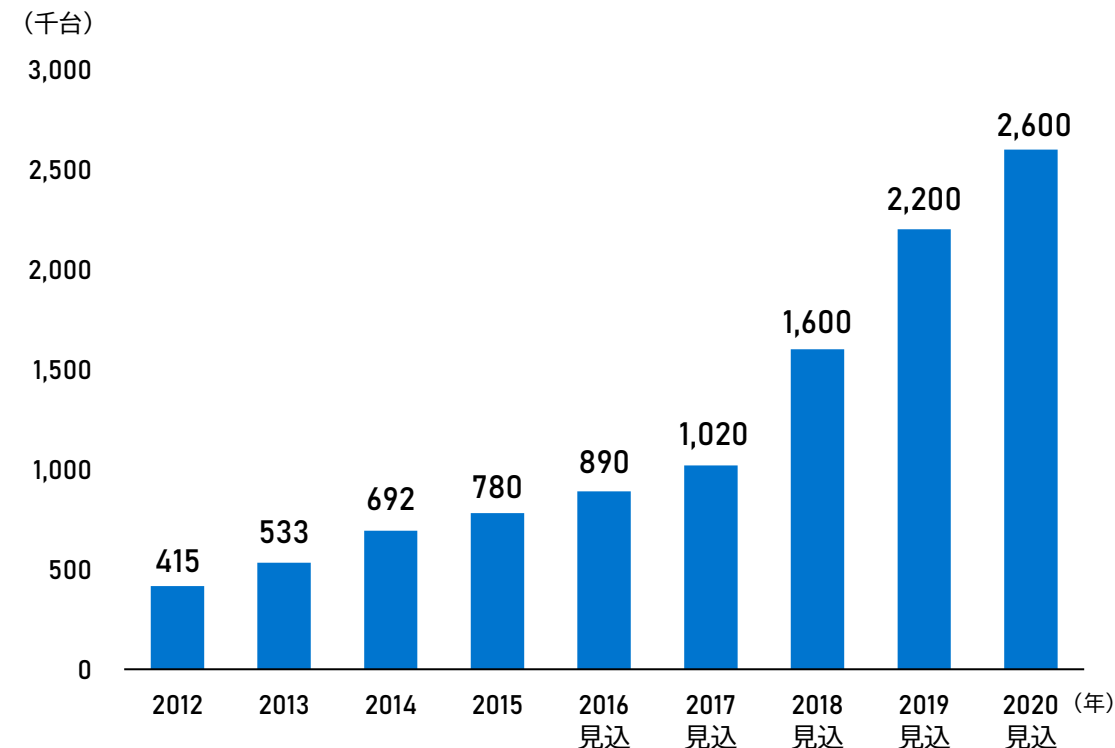
スマートシティの拡大や公共安全の関心の高まりと、監視カメラシステムの高度化により、AI活用が浸透。今後も画像解析AI分野の高い市場成長が予想される。

## ■ 監視カメラ向けの画像解析 / VCA市場



出典: 矢野経済研究所

## ■ 監視カメラ機器の国内出荷台数の推移



出典: 矢野経済研究所



## SaaSサービスで店舗の混雑を見える化（セキュア社提供）

店舗側

混み状況リアルタイム確認、来店分析に活用できる統計データ蓄積

来店客

来店前にWebサイトやサイネージで混雑を確認



DOUTOR × SECURE × morpho



- ドトール店舗入り口のサイネージ  
プレスリリース  
<https://www.morphoinc.com/news/20211027-jpr-ccs>



## 監視カメラの画像を解析、介助が必要な人をリアルタイムで検出

- シチュエーション： ショッピングモール、駅、街角の安全管理
- 活用例： 運用センター監視・駆けつけ、駅・公共施設での動線案内・危険の回避

車いすの人



白杖で歩く人



倒れている人



▶▶ パナソニック システムソリューションジャパン社を通じ、提供拡大の取り組み開始

A large, intricate wireframe butterfly graphic on the left side of the slide. It is composed of numerous white dots connected by thin white lines, forming a complex, geometric structure that resembles a butterfly's wings and body. The butterfly is positioned on the left side of the slide, with its wings spread out.

# Thank you

お問い合わせ先  
コーポレート戦略部 IR担当  
E-Mail: [m-info-ir@morphoinc.com](mailto:m-info-ir@morphoinc.com)